



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月2日
上場取引所 東

上場会社名 ミニストップ株式会社
 コード番号 9946 URL <http://www.ministop.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 直行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理担当 (氏名) 堀田 昌嗣 (TEL) 043-212-6472
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	36,842	10.6	△232	—	58	△89.7	△225	—
26年2月期第1四半期	33,307	12.5	240	△69.4	563	△48.5	113	△70.1

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 △551百万円(—%) 26年2月期第1四半期 1,462百万円(68.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	△7.78	—
26年2月期第1四半期	3.92	3.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	132,179	61,098	44.6
26年2月期	115,931	62,212	51.7

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 58,990百万円 26年2月期 59,990百万円

(注) 27年2月期第1四半期の総資産には期末金融機関休業日による仕入債務等の未決済分が11,569百万円含まれております。また、当該金額を控除した場合の自己資本比率は48.9%となります。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	22.50	—	22.50	45.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,300	11.4	2,950	△4.7	3,400	△7.8	1,350	△10.0	46.67
通期	161,300	10.4	5,200	12.1	6,000	2.9	1,700	95.4	58.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	29,372,774株	26年2月期	29,372,774株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	423,143株	26年2月期	439,892株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	28,941,275株	26年2月期1Q	28,923,923株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の国内の状況は、雇用率の改善や賃金水準の上昇などと相まって、個人の消費動向は回復を見せております。しかしながら、コンビニエンスストア業界を取り巻く環境は、加盟店での従業員雇用難、コンビニエンスストア店舗数の急激な増加、喫煙人口の減少による煙草の販売減、情報チャンネルの多様化による新聞・書籍の販売減、小型スーパーやドラッグストア、外食産業との食品マーケットをめぐる競争激化など厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは“私たちは「おいしさ」と「便利さ」で、笑顔あふれる社会を実現します。”というミッションの下、新ビジョン“もっと便利、もっと健康、もっと感動、毎日行きたくなる店舗をつくりまします。”を掲げ、国内コンビニエンスストア事業および海外エリアフランチャイズチェーン展開を推進してまいりました。

結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、以下の通りとなりました。

営業収入	368億42百万円	(前年同期比110.6%)
営業損失	2億32百万円	(前年同期実績 営業利益2億40百万円)
経常利益	58百万円	(前年同期比 10.3%)
四半期純損失	2億25百万円	(前年同期実績 四半期純利益1億13百万円)

営業収入は、ミニストップ(株)の直営店売上高の増加およびウォンレート、元レートの上昇により前年を上回りました。営業利益は、主にミニストップ(株)の売上高の未達成と積極的な加盟店支援並びにTVCM放映による販管費の増加、韓国ミニストップ(株)の販管費の増加などにより前年を下回りました。

国内および海外のエリアフランチャイジーを含めた当第1四半期連結会計期間末店舗数は4,572店舗となりました。

各セグメント別の業績は以下のとおりです。

〔国内事業〕

当第1四半期連結累計期間における国内事業の営業収入は191億48百万円（前年同期比105.7%）、営業利益は2億45百万円（同42.8%）となりました。国内の当第1四半期連結会計期間末店舗数は2,197店舗でした。

○ミニストップ(株)

チェーン全店売上高は840億31百万円、前年同期比95.3%でした。ミニストップ店舗の既存店1店1日当たりの前年同期比（以下既存店日販昨対）は95.7%、店内加工ファストフードの既存店日販昨対は95.9%、コンビニエンスストア商品の既存店日販昨対は95.7%でした。好調な分類は店内加工ファストフードのソフトクリーム・パフェ類、品揃えを充実させたおにぎり・サンドイッチなどの即時消費商品、スーパーマーケットの代替機能商品のデイリー・冷凍食品部門です。特に4月に当社の看板商品ソフトクリームバニラをリニューアル、同時に「マンゴーパフェ」を発売し、5月の「ハロハロ白くま」発売で幅広い年代のお客さまからご支持を頂いた結果、コールドデザート商品群は好調に推移し始めております。イオングループ連携WAON 5倍ポイント企画や当社独自の「WAONでソフト・パフェ合計4個購入するとソフトクリーム1個あげちゃいます！キャンペーン」はWAONカード販売数・利用率のアップにつながり、コールドデザートのリピーター購入につながっております。各種サービスにつきましては、POSAカードが継続して販売数を伸ばしております。不調な分類は、煙草や雑誌、ソフトドリンクが市場環境の変化による影響などで売上が前年を下回りました。消費税増税前後の動向につきましては、3月末に煙草や一部の非食品に駆け込み需要が見られ、4月はその反動があったものの、5月には増税前の状況にもどっております。

営業総収入は、166億62百万円、前年同期比106.4%でした。主な要因は、直営店売上高が前年同期比140.4%と伸びたことによります。なお、売上総利益率は30.6%、前年同期間からの改善は+0.6ポイントとなりました。おもに店内加工ファストフードの利益率の改善と煙草の売上構成比が低下したことによります。

販管費は118億23百万円、前年同期比102.3%でした。主な理由は、消費税増税対応経費、広告宣伝費の増加、直営店舗数の増加などです。

以上の結果、営業利益は2億5百万円、前年同期比36.6%となりました。

経常利益は5億47百万円、前年同期比67.6%、営業外収益は前年同期比136.3%、営業外費用は前年同期比113.7%でした。

四半期純利益は1億92百万円、前年同期比73.7%となりました。特別損失は店舗固定資産の減損損失が昨年から減少して2億68百万円、前年同期比72.8%となりました。

店舗の状況につきましては、当第1四半期は、不採算店舗の閉店を計画的に実施いたしました。新規出店は18店舗、閉店は39店舗、同会計期間末店舗数は2,165店舗となりました。

○(株)れこっず

ドラッグ&コンビニ店舗を関東地方と近畿地方で展開している(株)れこっずの同会計期間末店舗数は32店舗でした。

○ネットワークサービス(株)

定温センター13か所、常温センター7か所を運営し、国内ミニストップ店舗およびれこっず店舗向けの共同配送事業を展開しております。

[海外事業]

当第1四半期連結累計期間における海外事業の営業収入は176億93百万円(前年同期比116.5%)、営業損失は4億77百万円(前年同期実績 営業損失3億31百万円)となりました。当第1四半期連結会計期間末店舗数は連結子会社で1,942店舗、その他の海外出店エリア433店舗を含め2,375店舗となりました。

連結子会社である韓国ミニストップ(株)は、営業総収入173億5百万円、前年同期比115.7%でした。主な原因は期中平均レートが、1ウォン=0.0962円(前年同期期中平均レート0.0852円)とウォン高が進行したことによります。店舗の売上の状況につきましては、新たなフォーマットへの転換や品揃えの強化を推進し、既存店日販昨対は99.6%となりました。営業損失は2億70百万円(前年同期実績 営業損失1億68百万円)で、改装経費や積極的な販売促進により販管費が増加したこと等によります。四半期純損失は2億24百万円(前年同期実績 四半期純損失73百万円)でした。不採算店の整理を進め、特別損失が増加いたしました。新規出店数は49店舗、閉店は66店舗、同会計期間末店舗数は1,896店舗でした。

連結子会社である青島ミニストップ有限公司は、営業総収入3億87百万円、前年同期比163.2%でした。店舗の売上の状況につきましては、専用工場の本格稼働により弁当や総菜などが順調に売上を伸ばしております。特に「フォンダンショコラパフェ」「プリンパフェ」は多くのお客さまにご好評を頂き、客数・客単価の向上に寄与しました。しかしながら、営業損失は2億8百万円(前年同期実績 営業損失1億62百万円)、四半期純損失は2億99百万円(前年同期実績 四半期純損失1億73百万円)となりました。新規出店は1店舗、閉店は22店舗、同会計期間末店舗数は46店舗となりました。

その他、海外の出店エリアにつきましては、新規出店18店、同会計期間末店舗数433店となっております。なお、カザフスタンにおけるミニストップのチェーン展開を6月で終了しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ162億48百万円増加し、1,321億79百万円となりました。これは主に金融機関休業日であったことにより、現金及び預金が79億47百万円、関係会社預け金が50億円、未収入金が25億86百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ173億63百万円増加し、710億81百万円となりました。これは主に金融機関休業日による仕入債務等の未決済があったため買掛金が115億11百万円、店舗での公共料金等の収納額の増加による預り金が27億18百万円、未払金が24億30百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11億14百万円減少し、610億98百万円となりました。これは主に配当金6億50百万円を支払い、為替換算調整勘定が2億64百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2015年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2014年4月8日の決算短信で公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,094	16,041
加盟店貸勘定	6,056	7,335
商品	2,408	2,304
未収入金	7,484	10,071
関係会社預け金	10,000	15,000
その他	5,333	5,473
貸倒引当金	△215	△210
流動資産合計	39,162	56,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,746	12,524
機械装置及び運搬具（純額）	2,432	2,465
器具及び備品（純額）	11,470	11,328
土地	380	380
リース資産（純額）	904	849
建設仮勘定	179	328
有形固定資産合計	28,114	27,876
無形固定資産		
ソフトウェア	1,894	1,966
のれん	—	76
その他	227	204
無形固定資産合計	2,121	2,246
投資その他の資産		
投資有価証券	8,779	8,953
関係会社株式	572	563
長期貸付金	539	436
差入保証金	30,853	30,474
その他	6,020	5,859
貸倒引当金	△233	△247
投資その他の資産合計	46,532	46,040
固定資産合計	76,768	76,163
資産合計	115,931	132,179

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,519	33,031
加盟店借勘定	728	672
短期借入金	625	1,709
1年内返済予定の長期借入金	599	579
未払金	4,918	7,348
未払法人税等	747	200
預り金	10,898	13,616
賞与引当金	245	490
店舗閉鎖損失引当金	203	56
その他	1,312	1,469
流動負債合計	41,798	59,174
固定負債		
長期借入金	599	701
リース債務	760	702
長期預り保証金	7,654	7,427
退職給付引当金	223	262
資産除去債務	1,808	1,829
その他	872	983
固定負債合計	11,920	11,907
負債合計	53,718	71,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,491	7,491
資本剰余金	7,643	7,643
利益剰余金	40,016	39,129
自己株式	△776	△747
株主資本合計	54,374	53,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,727	4,846
為替換算調整勘定	944	679
在外子会社の退職給付債務調整額	△55	△52
その他の包括利益累計額合計	5,616	5,473
新株予約権	70	62
少数株主持分	2,151	2,044
純資産合計	62,212	61,098
負債純資産合計	115,931	132,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
営業収入	33,307	36,842
営業原価	17,865	20,724
営業総利益	15,441	16,117
販売費及び一般管理費	15,200	16,350
営業利益又は営業損失(△)	240	△232
営業外収益		
受取利息	174	175
受取配当金	48	37
違約金収入	75	72
その他	63	71
営業外収益合計	362	357
営業外費用		
支払利息	27	24
持分法による投資損失	4	22
為替差損	1	4
その他	5	15
営業外費用合計	39	67
経常利益	563	58
特別利益		
固定資産売却益	5	26
特別利益合計	5	26
特別損失		
減損損失	283	178
店舗閉鎖損失	27	89
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18	15
その他	5	81
特別損失合計	334	364
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	233	△280
法人税、住民税及び事業税	288	40
法人税等調整額	△92	17
法人税等合計	196	58
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	37	△338
少数株主損失(△)	△75	△112
四半期純利益又は四半期純損失(△)	113	△225

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	37	△338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,029	118
為替換算調整勘定	350	△315
在外子会社の退職給付債務調整額	—	4
持分法適用会社に対する持分相当額	44	△20
その他の包括利益合計	1,424	△212
四半期包括利益	1,462	△551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,451	△367
少数株主に係る四半期包括利益	11	△183

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自 2013年3月1日 至 2013年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業収入			
(1)外部顧客に対する営業収入	18,120	15,186	33,307
(2)セグメント間の内部営業収入又は振替高	75	2	77
計	18,196	15,188	33,384
セグメント利益又は損失(△)	572	△331	240

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	250	32	283

II 当第1四半期連結累計期間(自 2014年3月1日 至 2014年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業収入			
(1)外部顧客に対する営業収入	19,148	17,693	36,842
(2)セグメント間の内部営業収入又は振替高	85	—	85
計	19,233	17,693	36,927
セグメント利益又は損失(△)	245	△477	△232

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	85	93	178

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 2014年3月1日 至 2014年5月31日)

該当事項はありません。